

～活動紹介書～

🌈 タイトル：パイプオルガンコンサート
5月の空に浮かぶ虹色の調べ vol.12
～虹に心躍らせて～

🌈 開催日時：2021年5月15日（土）
14：00 開演（13：30 開場）～15：45 終演

🌈 活動内容：
安土文芸セミナーヨオルガン教室卒業生有志により結成するオルガンサークル虹の会♪によるパイプオルガンコンサート。

滋賀県で唯一本格的なパイプオルガンを有する近江八幡市安土町の安土文芸セミナーヨにて、2010年より、毎年5月に開催してきた定期公演の第12回目。

今回は、メンバー11名のうち、8名が参加。それぞれの思いを込め、ドイツバロックやフランスロマン派等のオルガン作品を演奏した。また、ポップスや童謡のアレンジ曲も取り入れ、すべてのお客様に、壮大で多彩なパイプオルガンの音色を楽しんでいただけるよう、工夫を凝らした。

コロナ対策の一環として、ふだんより広報活動を控えめにした結果、来場者数は約60名と少し少なめではあったが、大変喜んでいただいた。



パイプオルガンコンサート♪
5月の空に浮かぶ虹色の調べ vol.12
～虹に心躍らせて～

2021年5月15日（土）
14：00 開演（13：30 開場）
会場：安土文芸セミナーヨ
入場無料（限定190席/予約優先）

演奏曲
♪ スウェーデン：いと高き神にのみ栄光あれ
♪ J.S. バッハ：G線上のアリア
♪ J.S. バッハ：前奏曲 ロ短調 BWV544
♪ J.S. バッハ：前奏曲 ト長調 BWV557
♪ デュボア：勝利の行進曲 変ホ長調 ～12の新しい小品より～
♪ ギルマン：ソナタ 第8番 イ長調 op.91 より
第1楽章 イントロダクションとアレグロ・リソルト
♪ ヴィドール：オルガン交響曲 第5番 ヘ短調 op.42-1 より
第4楽章 アダージョ
♪ ジグー：トッカータ ロ短調
♪ デュボア：新沢としひこ/作曲＝中川たかひろ：にじ
♪ 北川悠仁・佐藤和哉：雨のち晴レルヤ
♪ ヒーリー：ファンタズミック！ (イメジューローコンターテインメントショーより)

指揮 虹の会♪
石田喜代美/伊藤信子/奥村隆子/川邊宏美
竹田美穂/東郷万寿/西田幸代/林典子/山田万里

レッスン指導：城奈緒美 (文芸セミナーヨ専属オルガニスト)
乗山彩子
(出演者や演奏曲は変更になることがあります。)

会場 安土文芸セミナーヨ
〒521-1321 滋賀県近江八幡市安土町桑実寺777番地
☎0748-46-6507
主催・お問い合わせ・予約：オルガンサークル虹の会♪
☎事務局 090-2013-6404
✉tenkorin@ares.eonet.ne.jp(メール予約可)

新型コロナウイルス感染拡大防止対策についてのお知らせとお願い
○新型コロナウイルス感染拡大状況によっては公演を中止する場合があります。
○体調不良や発熱がある方はご来場をお控えください。
○ご入場の際はマスクの着用・手指の消毒・三密の回避にご協力ください。
○ソーシャルディスタンスを厳守してご来場ください。
○参加者情報のご記入にご協力ください。
○出演者への差し入れ、プレゼントは辞退させていただきます。
○出演者の、公演後のホワイエでのご挨拶は控させていただきます。

参加者情報記入欄（点線より切り離して当日お持ちください。）

氏名
ご連絡先 電話 () -
メールアドレス @

いただいた情報は新型コロナウイルス対策として必要が生じた場合にのみ使用し、他の目的には使用しません。ご協力ありがとうございます。



パイプオルガンコンサート 2021
5月の空に浮かぶ虹色の調べ vol.12
～虹に心躍らせて～

2021年5月15日（土）
14：00開演（13：30開場）
会場：安土文芸セミナーヨ

主催：虹の会♪ 安土文芸セミナーヨオルガン教室卒業生有志

♪プログラム

Program

第1部

東郷 万寿 北川悠仁/佐藤和哉：雨のち晴レルヤ
(日本 1977～/1981～)

奥村 隆子 J.S. バッハ：G線上のアリア
Johann Sebastian Bach (ドイツ 1685-1750)

ヴィドール：オルガン交響曲 第5番 op.42-1 より
第4楽章「アダージョ」
Charles-Marie Jean Albert Widor (フランス 1844-1937)

林 典子 ジグー：トッカータ ロ短調
Eugène Gigout (フランス 1844-1925)

川邊 宏美 クリーガー：トッカータ イ長調
Johann Krieger (ドイツ 1651-1735)

ルフェーブル・ウェリー：ヴェルセ
Louis James Alfred Lefebure-Wely (フランス 1817-1869)

西田 幸代 デュボア：勝利の行進曲 変ホ長調 ～12の新しい小品より～
François-Clement Théodore Dubois (フランス 1837-1924)

～休憩～

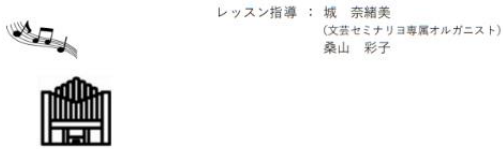
～文芸セミナーヨのパイプオルガン～

イギリス・マンダー社製
バロック・ロマンティック様式
パイプ総本数 2,093本
ストップ数 30
高さ 8.2m
重さ 10t

コロナ対策…エントランスにて注意事項の掲示、受付スタッフによるお客様への検温・アルコール消毒・連絡先記入等のご協力のほか、館内アナウンスでもご協力をお願いしました。

第2部

- 竹田 美穂 J.S.バッハ：前奏曲とフーガ 長調 BWV557
- J.S.バッハ：前奏曲 長調 BWV568
- 伊藤 信子 J.S.バッハ：前奏曲とフーガ 短調 BWV544 より 前奏曲
- 山田 方里 ヴィエルヌ：ウエストミンスターーの鐘
Louis Victor Jules Vieme (フランス 1870-1937)
- ヒーリー：ファンタズミック！
Bruce Healey (アメリカ 1950-)
- 東郷 方海 作詞=新沢としひこ/作曲=中川ひろたか：にじ
(日本 1963~/1964-)



出演
伊藤信子・奥村睦子・川邊宏美・竹田美穂
東郷万海・西田幸代・林典子・山田方里
(50音順)

新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

- お客様へのお願い**
- ① 体調不良や発熱がある方は入場をご遠慮ください。
 - ② 参加者情報のご記入をお願いいたします。
 - ③ マスクの着用・手指のアルコール消毒をお願いいたします。
 - ④ ソーシャルディスタンスを保ったご着席・三密の回避をお願いいたします。
 - ⑤ 着席後は座席のご移動をご遠慮ください。
- 虹の会♪の取り組み**
- ① 演奏時以外はマスクを着用します。
 - ② 演奏前後の手指のアルコール消毒を徹底します。
 - ③ 司会用マイクは、舞台袖にて使用毎にアルコール消毒します。
 - ④ 休憩時には扉を開放し、会場の換気を行います。
 - ⑤ コンサート終了後のホワイエでのご挨拶は控えていただきます。
 - ⑥ コンサート終了後には座席のアルコール消毒を行います。

Information

♪文芸セミナーヨのバイオルガンを楽しみむ催し♪

バイオルガンミニコンサート 2021

6月13日(日) 13:30 開演
入場料：(要整理券) 【全席自由】
♪オルガン教室受講生・卒業生によるミニコンサートです。

出演：文芸セミナーヨオルガン教室第24期生・25期生・卒業生



城奈緒美バイオルガンリサイタル ～オノナミ～

7月17日(土) 14:00 開演
入場料：一般 2000円 高校生以下 1000円
(当日 500円増し/未就学児入場不可) 【全席指定】
チケット好評発売中!

- ～プログラム～**
- J.S.バッハ / 協奏曲 八長調 BWV595
 - ヴォルシャール / 私のベートーヴェン
～オルガンのためのラグ
 - サンニサーンス / 白鳥
 - ヴィエルヌ / ウェストミンスターーの鐘
 - ギルマン / オルガン・ソナタ第1番 短調
Op.42 より第3楽章「フィナーレ」

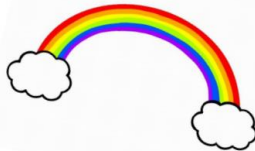
♪文芸セミナーヨ専属オルガニスト 城奈緒美による5年ぶりのリサイタルです!

主催：公益財団法人安土町文芸の郷振興事業団

にじ

作詞：新沢としひこ
作曲：中川ひろたか

にわのシャベルが一日ぬれて
雨があがって くしゃみをひとつ
くもながれて 光がさして
みあげてみれば



ラララ にじがにじが
空にかかって
きみのきみの 気分もはれて
きっと明日はいい天気
きっと明日はいい天気

せんたくものが 一日ぬれて
風にふかれて くしゃみをひとつ
くもながれて 光がさして
みあげてみれば



ラララ にじがにじが
空にかかって
きみのきみの 気分もはれて
きっと明日はいい天気
きっと明日はいい天気

あの子のえんそく 一日のひて
なみだかわいて くしゃみをひとつ
くもながれて 光がさして
みあげてみれば

マスクをしたまま、小声で…
または、心の中で…の
ご一緒に♪

※ラララ にじがにじが
空にかかって
きみのきみの 気分もはれて
きっと明日はいい天気
きっと明日はいい天気
※くりかえし

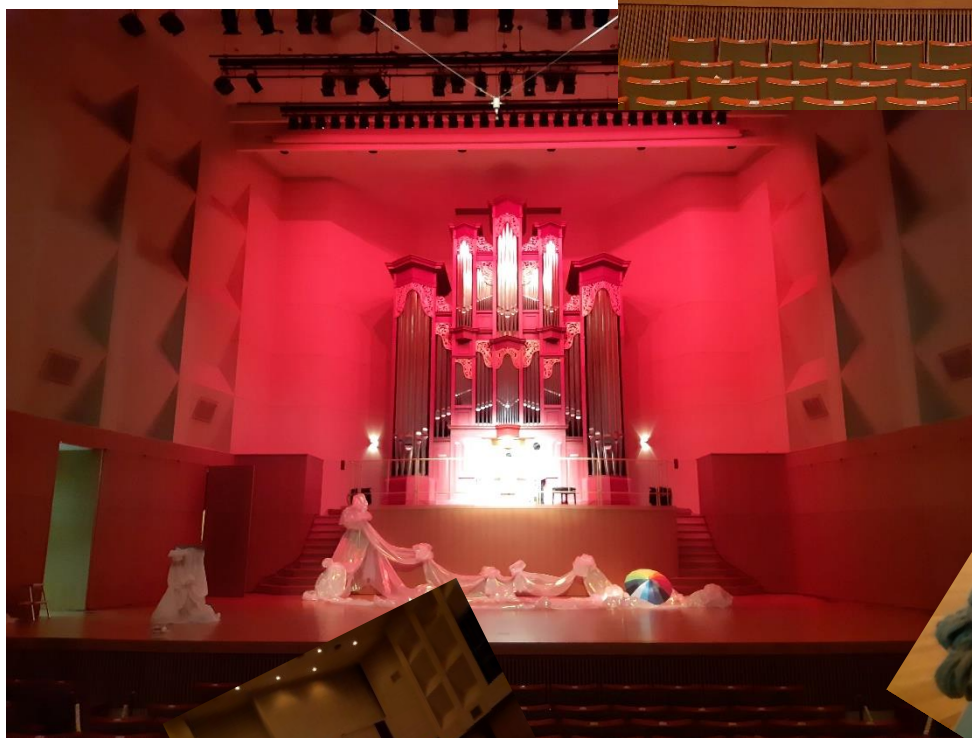
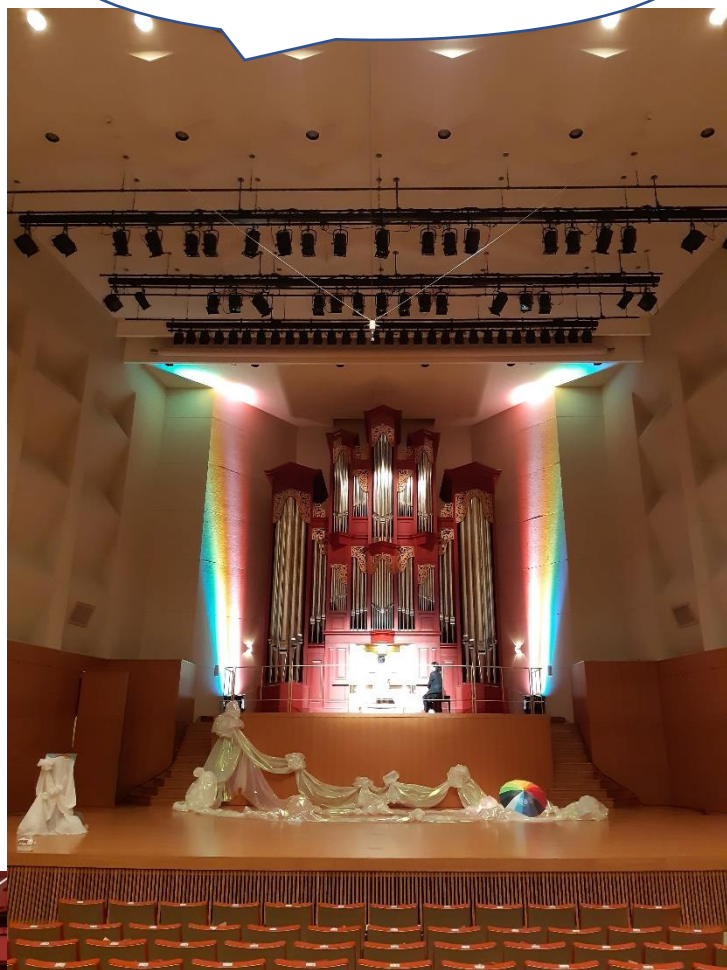
きっと明日はいい天気

エンディングでは、「にじ」をオルガン伴奏で、コロナ対策も兼ねて手話を取り入れて歌いました。



♪舞台準備・リハーサル風景

照明リハ。次々と変化するオルガンの色。とても美しいです🌈



♪今回はこの虹色傘が舞台の主役です。



♪さて、これは何でしょうか？
答えは、「バッハクイズ」で登場した、バッハの髪のかつら！メンバーによる手作りです！もちろんかぶれます♡

♪本番終了後の記念撮影



2年ぶり、いまだコロナ禍にあって異例づくめの第12回公演でしたが、支えて下さる多くの皆様のおかげで、今回も笑顔で終わることができました。雨の後には明るい太陽が、そしてきっと美しい希望の虹がかかる。みんなの明日がきっといい天気でありますように…。そんなメッセージを込めました。お客様に少しでも笑顔を届けることができたなら、本当に嬉しいです。



♪お手伝いくださった皆さんとともに。

♪お客様アンケートより

とても楽しい演奏会を聴かせていただきありがとうございました。

柔らかなパイプオルガンの音色に癒されました。

いろいろなイベントが中止になる中で開催していただき、素敵な演奏でしばし不安な日常を忘れて心豊かなひとときを過ごせました。

全身に音が響いているような、とても楽しい時間を過ごすことができました。

去年は聴けなくて残念でしたが、2年ぶりに聴くことができよかったです。

コロナ禍で練習もままならない中、皆さんの頑張りが伝わってきました。

ヨーロッパに心を寄せ演奏を聴いていると、情景がうかんでくるようでした。

感染拡大が続く中で準備や運営は大変なことも多かったのではと思いますが、開催してくださりありがとうございます。

聴きたい曲もあり、ポップな曲から重厚な曲まで、素晴らしい演奏会でした。

.....

ご来場ありがとうございました！

オルガンサークル 虹の会♪の紹介

安土文芸セミナーヨオルガン教室第2・10・11・12期卒業生の有志によって、2009年より活動を開始した。

メンバーは、県内各地より月に一度の自主レッスンに通い、文芸セミナーヨ専属オルガニストの城奈緒美先生のご指導のもと、研鑽を積み重ねてきた。

2010年を皮切りに、毎年5月にコンサートを行い、第3回目より有料公演とした後も、毎回200名以上の来場者に恵まれ、好評をいただいていた。

ふだんは、自宅に楽器のある者は自宅で、ない者はセミナーヨの練習室のチャーチオルガンで練習をおこなっている。

コンサートでは、メンバーそれぞれの得意分野を生かし、協力して企画、運営をおこなう。これまでオルガン演奏以外にも、皆でハンドベルやボディパーカッションに挑戦したり、フルート演奏を取り入れたり、舞台演出でも、手作りの照明や衣装などでお客様に楽しんでいただけるよう工夫を凝らした。

コンサート前の打ち合わせやリハーサルで集合する以外にも、メンバー同志で各地のパイプオルガンコンサートを紹介しあっては連れ立って出掛けることもよくあり、長年のよき友人でもある。なお、現在、オルガン教室は第25期まで続いており、卒業生サークルは5団体ある。それぞれが定期的に趣向を凝らした自主公演をおこなっている。

虹の会♪これまでの活動紹介

- 2010年 パイプオルガンコンサート 5月の空に浮かぶ虹色の調べ vol.1
2011年 同 vol.2
2012年 同 vol.3 (メンバー増のため、5月に2回に分けて開催。)
2013年 同 vol.4 (5月と7月の2回に分けて開催。7月はファミリー向けの七夕コンサートとした。)
2014年 同 vol.5 響～虹を束ねて金色となす～ (5周年記念ガラコンサート)
2015年 同 vol.6 ～奏でる～
2016年 同 vol.7 ～輝き～偉大な作曲家たちの作品
2017年 同 vol.8 ～無限・夢幻～
2018年 同 vol.9 ～つながり～
2019年 同 vol.10 ～ともに～ (10周年記念ガラコンサート)
2020年 同 vol.11 ～第2幕へ～ (コロナで中止。9月に身内だけの弾きあい会を開催。)
2021年 同 vol.12 ～虹に心躍らせて～

虹の会♪としての活動のほか、メンバーの中には文芸セミナリヨのオルガン演奏アルバイトに登録し、オルガン見学会のデモンストレーション演奏をしたり、セミナリヨ主催のミュージックフェスティバルに出演するなど、積極的に演奏機会を得ている人もいます。

今後の虹の会♪

2021年7月より2022年3月まで、文芸セミナリヨホール改修工事のため、パイプオルガンも使用不可となる。その間は、セミナリヨ内の研修室に設置されたチャーチオルガンを使ってレッスンを受けさせていただけることになった。虹の会メンバーも、再びホールの壮大なパイプオルガンを演奏できる日を心待ちにしながら、引き続き、研鑽を積んでいくこととなる。

第13回公演についてはまだ未定だが、ホールの状況を見ながら、他グループとも調整しつつ、時期を考えていきたいと思う。

その頃には新型コロナの状況が落ち着き、再びたくさんのお客様にお越しいただき、心おきなく、活動が行えるようになっていくことを願うばかりである。

これからも、愛してやまない安土のパイプオルガンを演奏させていただけることに感謝し、その魅力を多くの人々に伝えていきたいと思う。